

モビリティレポート

2022

日本に
ガッツを。

モビリティデータで
豊かな社会を創造する

モビリティレポート Vol.1

2018年～2022年 交通事故分析

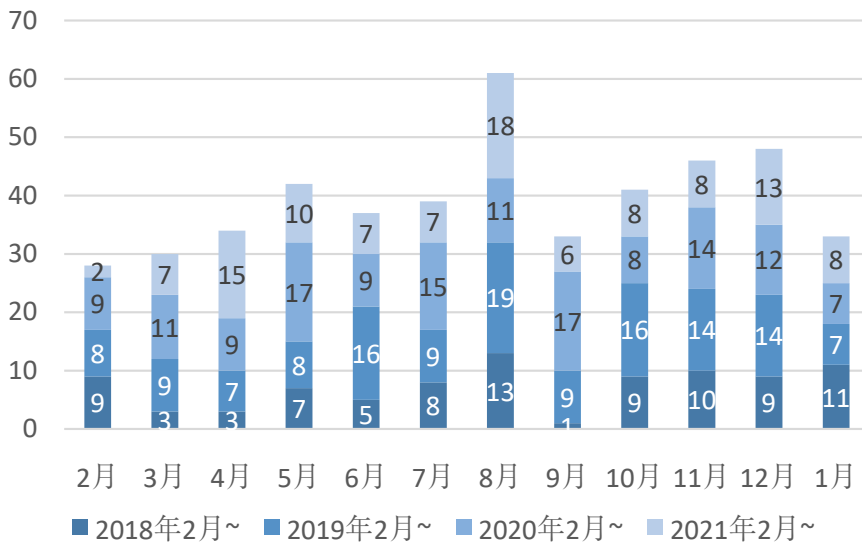
2022年6月1日

Mobility report

概要

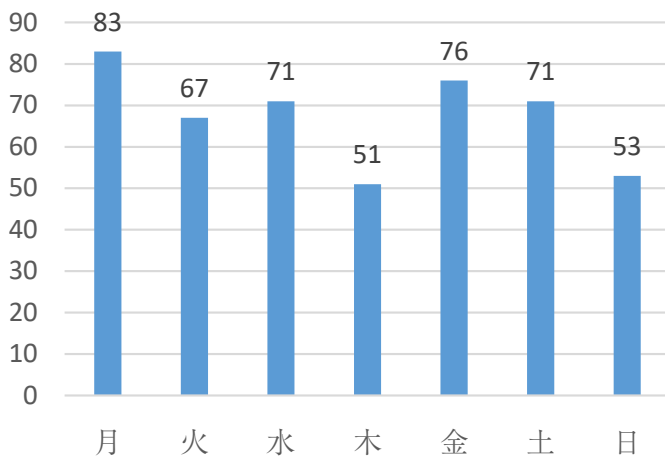
- ◆ 4年間のうち、2019年2月～2020年3月が最多の139件の事故が発生。反対に、2018年2月～2019年1月は最小の88件となっている。月別では8月や12月の交通事故発生件数となっている。（図表1）

(図表1)

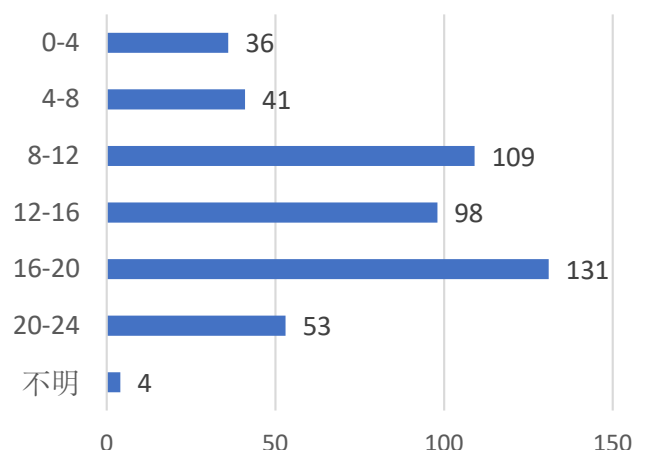


- ◆ 月曜日の16時～20時が最も交通事故が発生しやすく、8時～20時の間では全体の71.6%を占めている。（図表2、図表3）

(図表2)



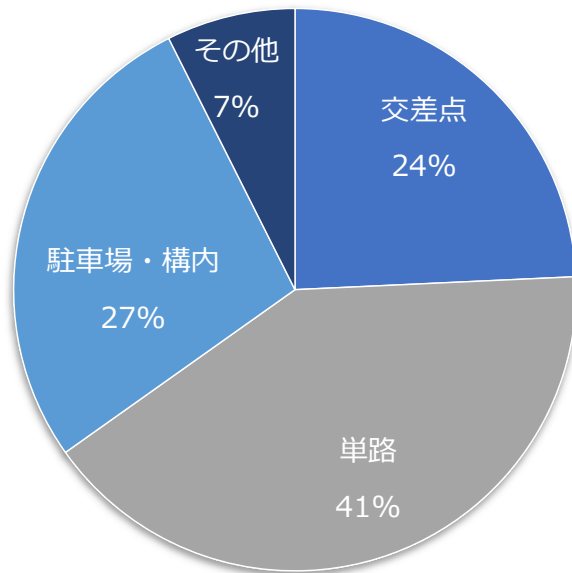
(図表3)



Mobility report

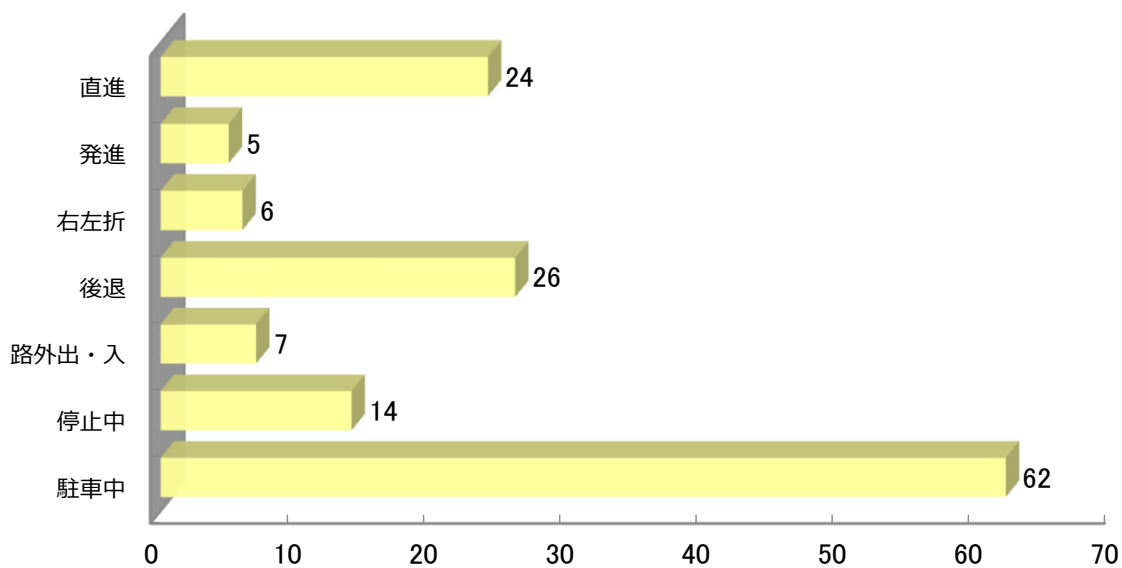
- ◆ 交差点・単路の事故が65%、駐車場・構内の事故が27%となっており、道路上以外の事故が多発している。（図表4）

(図表4)



- ◆ 駐車場内の事故では駐車中の事故が62件発生しており、周囲の確認不足による事故が多いことが考えられる。（図表5）

(図表5)



*Mobility report***傾向と対策**

- ◆ 時間帯別交通事故件数より交通事故が発生しやすくなっているのが16時～20時となっており、夕暮れ時に交通事故が発生しやすくなっております。暗くなり視野が狭くなってしまい運転が疎かになってしまう傾向にあるときに事故が起きやすく、またこれらの原因により、駐車場内での駐車中事故が発生しやすくなっている可能性も考えられます。
- ◆ 対策としては現在の速度制限を時間帯別によって変動、交差点付近にある街頭照明の照度改善、運転者技術向上のため、運転免許証更新時の運転技能講習必須にすることを今後取り組んでいく必要があると考えられます。

※本レポートはあくまでもガッツレンタカーの一部店舗より抽出したデータになります。

モビリティレポート Vol.1
2018年～2022年交通事故分析